

7日 木曜

エゼキエル



14:1 イスラエルの長老たちの何人かが来て、私の前に座った。

14:2 そのとき、私に次のような【主】のことばがあった。

14:3 「人の子よ。これらの者たちは自分たちの偶像を心の中に秘め、自分たちを不義に引き込むものを、顔の前に置いている。わたしは、どうして彼らに応じられるだろうか。

14:4 それゆえ、彼らに告げて、こう言え。

『【神】である主はこう言われる。心の中に偶像を秘めて、不義に引き込むものを自分の顔の前に置きながら、預言者のところに来るすべてのイスラエルの家の者には、その偶像の多さに応じて、【主】であるわたしが答える。

14:5 こうして、偶像のゆえにみなわたしから離されてしまったイスラエルの家の心を、わたしがとらえる。』

14:6 それゆえ、イスラエルの家に言え。

『【神】である主はこう言われる。立ち返れ。あなたがたのすべての偶像から身を翻せ。すべての忌み嫌うべきものをあなたがたの前から遠ざけよ。

14:7 イスラエルの家の者でも、イスラエルに寄留している者でも、だれでもわたしから離れ、心の中に偶像を秘めて、自分を不義に引き込むものを顔の前に置きながら、わたしに尋ねようと預言者のところに来る者には、

【主】であるわたし自身が答える。

14:8 わたしはそのような者に敵対してわたしの顔を向け、彼をしるしとし、語りぐさとして、わたしの民の間から絶ち滅ぼす。そのときあなたがたは、わたしが【主】であること

を知る。

14:9 もし預言者が惑わされてことばを語るなら、【主】であるわたしがその預言者を惑わしたのである。わたしはその者に手を伸ばして、わたしの民イスラエルのうちから根絶やしにする。

14:10 このような者たちは自分の咎を負う。その預言者の咎と、尋ね求めた者の咎は同じである。

14:11 こうしてイスラエルの家は、もうわたしから迷い出ることはなく、重ねて自分たちの背きによって自分自身を汚すことはなくなる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる——【神】である主のことば。』」

長老とは指導者であり、イスラエル共同体の決定権も持つ人々ですが、そのような者たちも偶像によって信仰が曲げられているということです。そしてここには「心の中に偶像を秘め」とありますから、単に見える偶像だけではなく、心の問題でもあるのです。

どんなものでもそれが影響して「わたし（神）から離れて」しまうようなものがあれば、それは結果的には偶像と一緒にということです。人は神さまに従わないでいるためには、様々なことをその理由にしますが、それらは偶像と一緒にです。

特に教会でも指導者であったり、意思決定に関わっていたり、または誰かの信仰に影響がある人である場合は、心の偶像を処分しなければなりません。それは自分と人のためです。

また誰であっても自分の祝福のために、偶像すなわち神様との関係を妨げるような理由を処分する必要があります。安心して、また勇気を持って、また勝利の確信を持ってそれができるように、互いに祈りあいましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

